

地元ガイドがおすすめ!

# 東海道

## 品川宿～間の宿 美原～川崎宿

### エリヤガイド



江戸の旅人が  
行きたった  
東海道

今からおよそ400年前、徳川家康が整備した五街道のひとつである東海道。江戸・日本橋から京都・三条大橋まで53の宿場がおかれ東海道五十三次と呼ばれていまもその後、さらに大阪までの京街道の宿場を含み東海道五十七次と呼ぶ説があります。品川宿から間の宿・美原、そして川崎宿までの道中をいにしえの名残を探しながら散策しませんか?

発行：品川区 大田区

問合せ

しながわ観光協会  
大田観光協会

☎03-5743-7642  
☎03-3734-0202

### アクセス



歌川広重(初代)『東海道五拾三次之内 品川 日之出』品川区立品川歴史館所蔵

**1 新八ツ山橋**  
品川宿の始まり。人気を誇る日本映画「ゴジラ」。太平洋上で生まれたゴジラが陸地に第一歩を印したのが八ツ山陸橋。

**2 品川浦船だまり**  
かつて、海苔の主要産地でもあった品川浦。当時の面影を残す船だまりと品川駅周辺のビル群、今と昔が混在している風景が楽しめる。

**3 聖蹟公園・品川宿本陣跡**  
江戸時代、大名が宿泊する本陣が置かれた。また明治天皇が京都から東京へ移る際宿泊したため聖蹟と名がつく。

**4 品川神社**  
徳川家とゆかりの深い神社。6月の大祭は「北の天王祭」と呼ばれる。境内には大神輿を展示する宝物殿、富士塚、板垣退助の墓などがある。

**5 品川宿交流館**  
品川宿の総合案内所。1階無料休憩所、2階品川宿の歴史と文化を知る展示室。  
【開館時間】10～16時  
【休館日】月曜日(祝日の場合翌日休館)、年末年始  
品川区北品川2-28-19 ☎03-3472-4772

**6 東海寺**  
徳川家光が禅僧・沢庵を迎えて開いた寺。たくえ漬け＝「たくあん」が考案された地でもある。

**7 荏原神社**  
南品川宿の鎮守様。5～6月の大祭は「南の天王祭」と呼ばれる。また、お台場の海に入り神輿をかつぐ海中渡御は通称「かっぱ祭り」と呼ばれ有名。

**8 南品川桜河岸 まちなか観光案内所**  
1929(昭和4)年頃に交番として開設された建物を使用した観光案内所。  
【開館時間】10:00～17:00  
【休館日】火曜日、水曜日、金曜日、日曜日、年末年始 ※臨時休館あり  
品川区南品川1-3-4

**9 品川寺**  
品川区最古の寺。江戸六地藏が道行く人の交通安全を見守っている。ジュネーブ市との友好の洋行の鐘、樹齢600年の大イチョウも有名。

**10 品川歴史館**  
2024年リニューアルオープン。映像やタッチパネル、豊富な歴史資料で品川の歴史を学ぶことができる。施設内には日本庭園や茶室も備えている。  
【開館時間】9～17時(入館は16時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、次の平日に休館)、年末年始 ※臨時休館あり  
【観覧料】一般100円/小・中学生50円  
\*品川区立の小・中学生、70歳以上の方、障害のある方は無料  
\*20名以上の団体は2割引  
\*特別展については別途  
品川区大井6-11-1 ☎03-3777-4060

**11 浜川橋(なみだ橋)**  
立会川にかかる浜川橋は、別名なみだ橋。江戸時代の処刑場・鈴ヶ森の近くにあり、罪人とその家族が、涙ながらに別れた場所。

**12 鈴ヶ森刑場跡**  
江戸時代の処刑場。丸橋忠弥、平井権八、八百屋お七など、歌舞伎にも登場する人物がこの地で処刑された。



今日の天気はどうですか?

お天道さまの具合で、天王洲アイル駅、りんかい線、品川シーサイド駅



### 14 美原通り

品川宿と川崎宿の間に位置したこのあたりは、旅人の休憩のために設けられた「間の宿(あいのしゆく)」としてにぎわい、麦わら細工などが土産物として売られていた。近年、商店街では看板や提灯、浮世絵の描かれたシャッターなどを整備し江戸の街並みを演出している。



### 15 大森と海苔 / 大森 海苔のふるさと館

江戸時代に海苔の養殖がおこなわれ、浅瀬の広がる大森周辺は大きな産地として発展した。この地で作られた海苔は「御膳海苔」として将軍家などにも納められたという。このエリアには、今も海苔問屋が数多くあり、「大森 海苔のふるさと館」では展示や体験などが楽しめる。

【開館時間】9～17時(6月～8月は19時まで) 入館無料  
 【休館日】第三月曜日(祝日の場合は翌日休館)  
 年末年始(12月29日から1月3日まで) ※臨時休館あり  
 大田区平和の森公園2-2 ☎03-5471-0333



### 17 羽田道

美原(三原)通りの内川橋から羽田(弁天橋)に至る約五キロの道。羽田の魚介類や野菜を江戸に運んだり、羽田弁財天等に参詣する人々がこの道を利用した。また歌舞伎に出てくる「駿河屋」という旅館があったことから「するがや通り」という名が残っている。



### 20 蒲田梅屋敷

江戸時代に和中断という道中常備薬を商う山本久三郎がこの地に梅の名木を集め、東海道を往来する旅人を相手に茶屋を開き「蒲田梅屋敷」としてにぎわった。広重の浮世絵にも描かれ、現在は聖蹟蒲田梅屋敷公園と呼ばれている。



歌川広重「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」大田区立郷土博物館所蔵



### 13 磐井神社

延喜式内の古社。東海道往来の旅人も飲んだとされる「磐井の井戸」。心正しければ清水、邪心あれば塩水という言い伝えがある。



### 16 海難供養塔

海難供養塔としては、東京湾中屈指の規模。台石の銘文には、一般の江戸町民や武士など約300名に及ぶ名が刻まれている。



### 19 東海道一本燈籠台石

江戸後期、東海道筋に通行人の目印として、大森村を中心に近郷、江戸、川崎などの富士講の人々によって建てられた常夜灯。



### 21 六郷神社

源頼義、義家が武運長久を祈願し勝利を収めて創建。後に頼朝も勝利を祈願した。境内にある石造の狛犬は江戸時代に作られたもの。1月の七草こども流鏝馬は東京都の、6月の獅子舞は大田区の無形民俗文化財になっている。

### 22 北野神社と六郷の渡し跡

別名「落馬止め天神」。8代将軍吉宗の落馬を止めたとして伝えられている。家康により作られた橋が流された後は、大正14年まで渡し船が使われていた。

### 23 東海道かわさき宿交流館

東海道川崎宿の歴史・文化などに関する展示のほか、お休み処や交流スペースなどがある。  
 【開館時間】9～17時 入館無料  
 【休館日】月曜(祝日の場合は直後の平日)  
 12月29日から1月3日まで  
 川崎市川崎区本町1-8-4 ☎044-280-7321



【東海道】は第一京浜に…  
 品川区・大田区にある東海道は、昭和2年の拡張工事によって第一京浜国道に姿を変えたが、北品川から鈴ヶ森刑場跡までと美原通りには、当時の面影が残っている。



### 18 巖正寺

毎年7月第2日曜日に、長雨が止むことを願う獅子舞が奉納される「水止舞(みずどめのまい)」が行われる。約700年前から現在も続いている。(東京都無形民俗文化財)

東海道をガイドと一緒に歩きますか?  
 地元のガイドが、一緒に歩いて、楽しみながら地域の魅力をお伝えします。  
 申込方法、ガイド料金等は、各観光協会までお問合せください  
 ●しながわ観光協会 ☎03-5743-7642  
 ●大田観光協会 ☎03-3734-0202

